

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
オリンピック・パラリンピック教育推進校

事業実施報告書

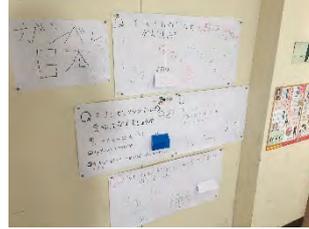
学校名【 横浜市立 白幡小学校 】

1 実践テーマ	【スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築】
2 実施対象者	①全校児童 ②5年3組 総合的な学習の時間 ③希望者（1年生） ④希望者（1・2年生、保護者）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（総合的な学習）パラリンピックスポーツ経験者との交流 ② 行事名（特別活動）長縄大会 ③ その他（人権教育）企業との「はだいろ」に関する個性の教育 （2）地域における活動 ① イベント名（白幡小&GODAI 体力向上プロジェクト） ② その他 （50M走・ボール投げ教室）
4 目標 （ねらい）	ア) 体力向上の推進 イ) オリンピック・パラリンピックの歴史、基礎知識の調べ学習 ウ) パラリンピック競技の体験 エ) グローバルな交流にむけての人権教育 オ) 地域との連携強化
5 取組内容	ア) 体力向上の推進 ○長縄大会の実施（全校において3分間の記録会を実施） ・5月、2月に全校で記録会を実施 ・企画、運営をスポーツ委員会が実施   ○マラソン大会の実施（10月～12月をマラソン月間として実施） ・1～3年生は時間走、4～6年生は距離走を実施 ・地域ボランティアとの連携 ・オリンピックを例とした、走り方の指導 

イ) オリンピック・パラリンピックの学習

○オリンピック・パラリンピックの歴史等の調べ学習

- ・「I'm possible」を導入とした、学習の展開
- ・オリンピック・パラリンピックの歴史、マークの意味、種目数等の調べ学習
- ・教室前の廊下を「5リンピックロード」と称して、自分たちが調べたことをクイズにしたり、ポスターにしたりして掲示



ウ) パラリンピック競技の体験

○パラリンピック競技の体験

- ・シッティングバレーの体験
- ・「I'm possible」を活用して、ガイドランナーの体験
- ・ラポールの方々との交流を通して、車いすバスケットボールの体験



エ) グローバルな交流にむけての個性・ダイバーシティの教育

○資生堂との「はだいろ」に関する個性の教育・ダイバーシティの教育

- ・資生堂の方々をお招きして、自分の「はだいろ」について考える個性・ダイバーシティの教育
- ・世界中の人々と関わっていく上での個性・ダイバーシティについて学ぶ



オ) 地域との連携強化

○企業との体力向上プロジェクト

- ・1年生の希望者を対象として、GODAI テニスカレッジの方々による、体力向上プロジェクト（放課後 GODAI テニスクラブのコーチの指導による、テニスを基にした体づくり運動を無償で実施）



○「いちょうの会」による「50M走・ボール投げ教室」の実施

- ・白幡小学校「いちょうの会」が主催する1・2年生、保護者を対象とした「50M走・ボール投げ教室」を休日に実施

6 主な成果	<p>○児童の運動機会の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長縄大会、マラソン大会を通して、休み時間、放課後等における、児童の運動機会が増加した。</li> <li>・保護者の参観、ボランティア協力が多く、地域、保護者に児童の体力の実情を共有できる機会となった。</li> </ul> <p>○オリンピック・パラリンピックについての興味・関心の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年3組の総合的な学習で調べ、整理した、オリンピック・パラリンピックに関することを通して、児童の知識が深まったり、これまで関心もなかった、競技等に興味を示したりする児童が増加した。「この間テレビで、ブラインドサッカーのことやっていたよ!」と話す児童や、「点字ブロックって白幡の町にもたくさんあったよ」などと報告する児童から、児童の日常生活の変化にも多く影響している。</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピック2020や2019ラグビーワールドカップに興味をもち、楽しみにする児童が増加した。</li> </ul> <p>○「オリンピック・パラリンピック」という材を通して、児童の必要感にあった、学習の展開ができた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資生堂との「はだいろ」に関する個性の教育・ダイバーシティの教育では、2019ラグビーワールドカップや2020オリンピック・パラリンピックが横浜でも開催され、これまでに以上に多くの国の方と接するというきっかけをもとに、学習が進んだので、児童も必要感をもって、学習に取り組むことができ、「はだいろ」を通して、「個性」を認めることや、自信をもつこと、さまざまな人とのコミュニケーションをとる上で大切なことについて学ぶことができた。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>○年間を通して、各教科領域等でオリンピック・パラリンピックと関連されるカリキュラムづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習のみならず、体育や道徳の学習でもオリンピック・パラリンピックの材を活用した。具体的には、体育の授業では、オリンピックの動画をもとに、器械運動の技の行い方のポイントを確認したり、オリンピック競技同様の採点形式を用いたりすることにより、児童の意欲を向上させた。</li> <li>道徳の学習では、前述した資生堂との人権教育の導入として、活用した。</li> </ul> <p>○保護者・地域との関連を強化した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童のみの学習にとどまらず、地域・保護者とも関連したり、発信することによって、児童の活動を価値付けたり、学校全体、まち全体がオリンピック・パラリンピックや、白幡小学校の児童の体力について、より興味・関心を持つことができるようにした。</li> </ul>
8 主な課題等	<p>○学習の成果の発信を広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス総合でおこなっている学習の成果を、さらに多くの人に発信していく必要がある。校内の掲示物のみならず、集会や委員会活動の一環として、より多くの児童へ発信していくことが望ましい。</li> </ul> <p>○オリンピック・パラリンピアンとの関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピアンとの交流の回数を多くし、選手や競技の魅力を経験する機会を設け、児童の課題解決の幅を広げたり、学習の深さを感じたりすることができるようにすることが必要である。</li> </ul>

<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<p>○学校会でのスポーツイベントの参加を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• まちや、施設で行われているスポーツイベントへの児童の参加が少ない。学習の関連で、参加を促したり、スポーツ団体との連携をとり、さまざまなスポーツ行事に参加したりしたくなるように学校側から、発信していく。</li> </ul> <p>○オリンピック・パラリンピアンとの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オリンピアン・パラリンピアンとの交流を年に数回もつことができるように企画、運営していく。</li> <li>• 5年球技大会では、バスケットボール、サッカーに関する選手</li> <li>• マラソン大会や6年生の市体育大会では陸上競技に関する選手</li> <li>• 水泳学習では、競泳に関する選手</li> </ul>
-------------------------	--